

今年の夏は平福記念美術館にて秋田県内で活動する現代芸術家7名で展示を開催いたします。

陶芸や写真、版画にイラスト、絵画に彫刻やインスタレーションなど、とても幅広いジャンルです。

そして、この芸術家たちは表現をする傍ら、農業を営んでいたり、田んぼの真ん中で食堂を開いていたり、

フェスやイベントを開催したり、冬季は焼き芋屋さんをしたり、教員をしていたり、

舞台芸術を制作したり、DJをしたり、ギャラリーを営んでいたり。

秋田で生活すること、秋田に関係することもきちんと楽しみながら、活動的に制作を楽しんでいる方々です。

平福記念美術館で展示させていただくことになり、心より感謝いたします。是非ご覧ください。



田村 一 | TAMURA HAJIME

1973年秋田市生まれ。1992年早稲田大学入学後、陶芸始める。大学院修了後、東京をメインに作家活動開始。

2002年、益子に移住。以後、国内外で個展開催。2011年、秋田市仁別に戻り、スタジオ"nesta"設営。

また週刊モーニング連載中の『へうげもの』とのコラボレーションを果たす。「へうげ十作」のひとり。

2015年冬にはnoma Japanのための器を制作。2018年には全国の陶芸家と秋田の酒蔵集団「NEXT5」のコラボに携わる。



高橋 希 | TAKAHASHI NOZOMI (オジモンカメラ)

1974年秋田市生まれ。明治大学文学部在学中、音楽冊子「SPYS」の制作にかかわることで写真に興味を持つ。

卒業後、写真家・河村悦生氏に師事し独立。フリーランスのカメラマンとして活動していたが、2013年4月に秋田へ戻る。

雑誌『のんびり』での撮影のほか、「普通の暮らしにひそむおもしろさ」をテーマにしたリトルプレス「yukariRo」の制作、

アートイベント「オジフェス」の実施(全4回)など、精力的に活動している。2015年「急がば廻れ」展に参加。



阪本 真千代 | SAKAMOTO MACHIYO

1973年大阪生まれ。沖縄で染織を学ぶ。2008年、秋田県大仙市に移住。農業の傍ら、大仙市で食堂を営む。

「仙北市は♡あーと展」「旅するマーケット」「オジフェス」等、イベントでの水彩の似顔絵を描く。

大木綾乃や英心&TheMeditationaliesのCDジャケットや、空の木ガーデンの包装紙、五城目にできたカフェ、

「Hikobe」のロゴデザインを手掛ける。「人形芝居ちょうこくしつ座」という糸操り人形劇屋のユニットも展開している。



藤嶋 えみこ | FUJISHIMA EMIKO

1980年大仙市生まれ。京都精華大学デザイン学科卒業。挿絵作家。

2006年ポーロニャ国際絵本原画展入選。シリーズ児童書「バーバルルーナのお客さま(偕成社)」の挿絵を担当。

2012年 Sharjah Exhibition Children Book's Illustrations (アラブ首長国連邦) 他、グループ展等多数。

作画を担当した絵本「おおきいおうちとちいさいおうち(岩崎書店)」はフランス、ベトナム、韓国、台湾で翻訳されている。



後藤 仁 | GOTOH HITOSHI

1975年由利本荘市生まれ。秋田公立美術工芸短期大学卒業後、秋田市大町のギャラリー「ココラボラトリー」の開設・運営に携わる。

ココラボラトリーの2代目代表、兼デザイナー。自身の制作活動のほか、最近はダンス公演への出演、舞台美術も手掛ける。

2007~2016年「ゼロダテ/大館」、2017年個展「TIMELINE」ココラボラトリー(秋田)

「踊る。秋田2017」グラフィックデザイン担当。町歩き手づくり品市「ものまちさんぽ~2018春」企画運営(秋田市新屋)など。



齋藤 瑠璃子 | SAITO RURIKO

1984年仙北市生まれ。2009年多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業。第24回ホルベインスカラシッパ奨学者認定。

大学時代から秋田や故郷を題材とした作品を制作する。2011年秋田にもどり齋藤農園を営みながら農業と美術の可能性を模索中。

最近の展示は、2017年「VOCA展2017 新しい平面の作家達」上野の森美術館(東京)、

2017年「artline AR」秋田市立千秋美術館(秋田) 2017年・2018年「アグロスアートプロジェクト」青森県立美術館(青森)など。



小林 研太 | KOBAYASHI KENTA

1985年仙北市生まれ。筑波大学大学院人間総合科学研究科 博士前期課程 芸術専攻 彫塑領域 修了。

石や木を素材とした作品を制作。石は自然や感情を、木は伝説や物語、人物をモチーフに展開する。2008年国展彫刻部門初入選。

第50回秋田県美術展覧会 彫刻部門特賞(秋田県知事賞)、2014年 Familiar Collection vol.1(東京 池之端)、

あきたの美術2012展、あきたの美術2013展、2017年個展「バヤメグものたち」(秋田県若手アーティスト育成支援事業)など。